


川崎病免疫グロブリン療法 クリニカルパス

小児内科

様の入院から退院までの予定です

※状態により予定が異なることもございます

月日	1日目(/)	2・3日目(/ ~ /)	4日目(/)	5~6日ごろ(/ ~ /)
達成目標	川崎病の経過、入院から退院までの流れがわかる 免疫グロブリンによる副作用がみられない(脈が速くなる・血圧が下がる等) アスピリンが飲める (主治医の指示があるとき)	免疫グロブリンによる副作用がみられない(脈が速くなる・血圧が下がる等) 心不全症状が悪くならない(尿量が正常・浮腫の増悪がない) アスピリンが飲める 家族が患者様の経過を受け入れることができる	川崎病の症状が悪くならない 肝機能障害が悪くならない CRPが減少している 冠動脈障害がない 心不全症状が悪くならない 発熱がない(37.5以下) アスピリンが飲める 新たな症状がみられない 家族が患者様の経過を受け入れることができる	《退院の目標》 川崎病の症状が良くなる 肝機能障害がない、または良くなっている 心不全症状が見られない 冠動脈障害がない CRPが改善している 家族が退院後の児の生活、通院、内服についてわかる
検査	採血 心臓超音波検査 胸部レントゲン 心電図 検尿 後鼻腔培養 身長、体重測定をします 	免疫グロブリンは血管外に漏れると組織の損傷を起こす事があります。点滴のはれや痛みがある時は、早急にお知らせください 	心臓超音波検査 (検査前に眠たくなるお薬を飲んでいただく場合があります) 採血をします 	アスピリンを内服しているため、出血しやすい状態です圧迫時間の目安は15分です。お子様がびっくりするので、落ち着いて対応しましょう   圧迫時間の目安は15分です。お子様がびっくりするので、落ち着いて対応しましょう。
治療	持続点滴をします	状態が安定すれば点滴をはずします		
	免疫グロブリン投与をします	(解熱が見られなかった場合、免疫グロブリンを再投与します)		
	アスピリンを内服します 1日3回 ※口が乾燥したり、皮が剥けるようであれば軟膏を処方できます。看護師に声をかけて下さい 			アスピリン内服は1日1回に減量します
食事	特に制限はありません(食事形態はご希望に合わせて変更できます)			
清潔	体を拭きます 	熱がなければシャワーできます	点滴がとれ、熱がなければ入浴ができます 	
尿	尿便は回数のみ記入してください			
活動	大部屋に入室します ベッド上安静です (トイレのみ歩行可) 	発熱(37℃以上)なければ病棟内・プレイルームの範囲で活動してください	点滴がとれたら、病院内で活動できます	
検温	体温を少なくとも4回/日測ります 血圧は3回/日測ります	体温を3回/日測ります 		
説明	主治医が病状説明、治療免疫グロベニンについての説明をします (入院診療計画書、病状説明書、血液製剤説明同意書) 入院診療計画書・同意書は了解されたら署名・捺印して提出して下さい 医療費についてお話しします		午前中に退院となります 看護師が退院後の説明をします 	
提出書類	入院誓約書 付添い許可願い 入院される方へ 個室希望の方は看護師に申し出てください(個室同意書が必要になります)		保険などの書類がある場合は、平日の日中に総合受付6番「文書受付」まで申し出てください	

わからない事がありましたら、いつでもお聞きください

石川県立中央病院

【所在地】金沢市鞍月市東2丁目1番地 【TEL】(076)237-8211(代)

平成26年10月作成